

-----4月26日-----

今週のアウトルック (4/26 ~ 4/30)

相変わらずギリシャ問題に振り回される状況が続いています。週末のギリシャによる欧州連合 (EU) と国際通貨基金 (IMF) への支援制度の発動要請によって、海外市場では反発して終わっています。この状況を今週もどこまで継続できるのかがポイントとなりそうです。

テクニカル的にはある程度の調整を終えて、円安への一段進行の準備が整ったという見方もできるように思います。景況感の好転と合わせて、どこまで明るいムードに転換できるかも重要な要素となりそうです。

ドル円は先週、結果的には91円台から94円近くへ大幅上昇して引けています。米国景況感の好転による、金利先高感観測はしばらく続きそうです。95円のポイントではしばらく停滞しそうですが、ここをクリアできれば一気に100円が視野に入ってくるように思います。

予想レンジは93円から95円です。

ユーロ円はギリシャ問題がいったんは収束できるかがポイントとなりそうです。ユーロドルがなんとか1.33あたりのレジスタンスをキープできたことにより、懸念される問題などが報道されなければ、いったんは反発しそうです。ドル円が上昇トレンドを維持できれば、ユーロ円も上昇トレンド回復というシナリオもあるかもしれません。ただ、しばらくはレンジ停滞の可能性も高いように思います。

予想レンジは124円から128円です。

ポンド円は上昇トレンド継続の可能性が強いかもかもしれません。145円あたりのレジスタンスは意外と強いのかもかもしれませんが、ここをクリアできれば150円も視野に入ってきます。ギリシャ問題の収束感とドル円の強気が継続できれば、145円クリアもそれほど遠くないかもしれません。

予想レンジは143円から147円

ギリシャ問題の収束感によって大きく変わりそうな週となりそうですが、収束感が強くなれば大きく反発するエネルギーはドル円、クロス円ともに強いように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。